

調査団体名	きれいな伊勢志摩づくり連絡会議		団体代表者名	高屋充子	
設立年	2001年		団体URL	なし	
活動地域	伊勢市、鳥羽市など		会員数	メンバー 約30人	
取材日	2009/9/29	レポート作成者	北橋夕里桂 竹峰誠一郎	調査員	北橋、竹峰
<活動内容>					
<p>2008年度に取り組んだ事業は次の通り。</p> <p>○「伊勢志摩地域ごみゼロ推進交流会・講演会」の企画運営。交流会に68人、講演会に126人が参加。</p> <p>○伊勢と鳥羽市内にまたがる県道37号線で一斉「道路清掃」。12人で実施。</p> <p>○環境省が主催した「海ごみ調査活動」に協力。答志島の桃取地区で計3回実施。延べ48人参加。</p> <p>○参加要請を受けた「海ごみサミット・鳥羽会議」、鳥羽・二見浦海岸の「クリーンキャンペーン」などに参加。</p>					
<会のモットー(何を大切にしているか)>					
<p>○ごみのない美しい景観を取り戻す→観光地として集客アップ、イメージアップ</p> <p>○地域の環境を大切に思うこと</p>					
<設立から現在に至るまでに変化したこと>					
<p>○当初:平成13年に三重県が打ち出した「きれいな伊勢志摩づくり」を円滑に推進することを目的に創設。市民対象の「ごみ大学」を開催し、その受講生が中心になり活動を展開してきた。当初は県の事業を市民参加で進める形であった。</p> <p>○現在:2007年に県の事業が終了し、「ごみ大学」の元受講生がボランティアで活動を展開する形に変わった。「ごみゼロ推進交流会・講演会」は三重県環境森林部ごみゼロ推進室と共催で事業を実施している。</p>					
<連携している団体・専門家・自治体など>					
<p>○地元:三重県伊勢農林水産商工環境事務所・環境室、伊勢志摩地域7市町、地元企業(山本建材、ホテル戸田家)など</p> <p>○全国:JEAN/クリーンアップ全国事務局</p>					
<今までに行った調査・研究>					
水辺のごみ・漂流漂着ごみ調査→JEAN/クリーンアップ全国事務局の調査方法に準拠し、結果を報告している。					
<現在直面している課題>					
<p>○ごみ:捨ってもどんどんごみが出る。捨てる人は同じ、拾う人も同じ。観光客のマナーの問題もある。</p> <p>○メンバー:高齢化してきている。若い人の参加が少ない。</p> <p>○財政:お金がない。</p> <p>○行政側:行政がどこまでどう関わっていくべきか。</p>					
<今後やってみたいこと>					
<p>○きれいな伊勢志摩を維持していきたい。</p> <p>○行政との関わりをつくっていきたい。</p>					
<そのためにはどんな情報・人脈が必要か>					
全国の事例が欲しい。成功事例があったら教えてほしい。ごみ問題、市民と行政との関わりでも。					
<チームオリジナルの質問>					
質問内容:	「海ごみ調査活動」に取り組まれてどうでしたか?				
答え:	ごみ拾い活動を通し、漁師の意識も変わってきた。				
質問内容:	「海ごみ調査活動」は今後も取り組まれるのでしょうか?				
答え:	2009年は鳥羽市が、6月に計4カ所で実施し、メンバーも参加した。				
<その他、伝えたいこと>					
鳥羽市の答志島の桃取地区は、伊勢湾の海ごみが流れ着く場所。					